

プレスリリース
報道関係者各位

2019FY001
2019年7月10日
「新しい東北」官民連携推進協議会

復興まちづくりキャンプ 2019（小金井キャンプ）
震災復興に備える体験研修、復興まちづくりキャンプ
地域協働復興の普及啓発事業（都民提案事業）

首都東京が大きな災害にみまわれた場合、私たちはくらしとまちの復興をめざす「復興まちづくり」に立ち上がることが必要です。救急救命・避難から地域コミュニティを活かし、行政と市民、企業の協力で「地域協働復興」に取り組むことが重要です。このため、復興まちづくりキャンプでは都立公園を震災後のオープンスペースに見立て復興プロセスを模擬体験し、仮設市街地や事前復興を3日間の合宿研修で学びます。

概要は添付資料および下記の URL をご参照ください。

<https://r-cp.jp/>

【本件に関する報道関係の問合せ先】
復興まちづくりキャンプ 2019 事務局
株式会社地域計画連合 江田、柳坪
TEL : 03-5974-2021
Email : RCP@rpi-h.co.jp

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

復興まちづくりキャンプ 2019

あなたは被災者です。
いま、あなたが 필요합니다。

東京が大きな災害にみまわれたとき、何が必要で、何をしなければならないのか。

暮らしとまちの復興をめざして私たち自身が「復興まちづくり」に立ち上がるために、

被災したその「7日後」「3か月後」「3年後」という設定で、

公園を震災後のオープンスペースに見立て、

復興のプロセスを模擬体験する宿泊型の研修キャンプをおこないます。

舞台は、夏、都立小金井公園です。

あなたの参加をお待ちしています。

開催日：2019年7月13日(土)14日(日)15日(月・祝)の3日間(2泊3日)

場所：都立小金井公園 つつじ山広場(東京都小金井市)

復興まちづくりキャンプ2019

プログラム

Step 1 つくる

7月13日(土)

被災7日後(避難生活期)

仮の住まい基地をつくる

下町、都心、山の手、郊外、などの4地域のコミュニティを想定して、運動会テントを活用した寝場所づくり、トイレ、話し合いの場の工夫、運営ルールづくりなどを体験します。夕食は共同炊飯です。

Step 2 すむ・かたろう

7月14日(日)

被災3か月後(復興始動期)

仮設市街地を体験する

全国の被災地復興リーダーを招いた緑陰セミナーを開催。仮設集会所、仮設店舗、仮設事務所、仮設子ども塾などを体験。「地域協働復興」をいかに実現するかを学び、復興まちづくりについて話し合います。

Step 3 かんがえる

7月15日(月・祝)

被災3年後(本格復興期)

復興への事前準備を考える

各コミュニティごとに復興活動を整理し、復興にいたるまでの活動のイメージや課題を発表。「復興の事前準備の必要性」について理解し、復興まちづくりキャンプ合同宣言をおこないます。最後にみんなで協力して仮設市街地の撤収をおこないます。

申込方法

◎参加費：3日間全プログラム(5食分の食費込み)

おとな 5000円

こども 1000円(小学生以下)

◎参加条件

- ・3日間(2泊3日)の全プログラムに参加できる方、または宿泊しないで3日間の全プログラムに通って参加できる方
- ・こども(小学生以下)だけの参加はできません。
- ・下記の申込内容を記入し、参加申込先にメールまたはFAXにて参加をお申し込みください。指定の口座への参加費振り込み確認後に、参加了承のお知らせを通信いたします。

◎申込内容

①参加者氏名②参加者住所③性別④生年月日⑤携帯電話番号⑥メールアドレス⑦テント持参可否⑧食物アレルギー有無

◎参加申込先

事務局：(株)地域計画連合

メール RCP@rpi-h.co.jp

FAX 03-5974-5770

◎プログラム当日参加費(14日のみ)

おとな 1日1000円/半日500円

- ・事前申し込みは不要です。
- ・こども(小学生以下)だけの参加はできません。

◎問い合わせ先

Tel 03-5974-2021

復興まちづくりキャンプ2019実行委員会

事務局：(株)地域計画連合(担当：石山・柳坪)